

#### ■スイス：上院エネルギー委員会が、新世代炉の建設を容認する対案を決定

スイス全州議会（上院）のエネルギー委員会は 2011 年 8 月 30 日、国民議会（下院）が 6 月 8 日に可決した政府の脱原子力政策を支持する動議に対する対案を決定した。スイス政府は 5 月 25 日に原子力発電所の寿命を 50 年とし 2034 年までの段階的閉鎖を盛り込んだ新たなエネルギー戦略を決定していた。上院エネルギー委員会の決定によれば、原子力技術を維持し、現世代炉（第 2 世代炉）の建設のみを禁止し、第 3 または第 4 世代炉は建設することができる内容となっている。上院の採決は 9 月 28 日を予定しており、採決後、下院に差し戻される。その後、法制化の手続きが両院で同じように行われることになっている。4 年に 1 度の連邦議会（国民議会と全州議会）選挙が 10 月 23 日に行われるため、選挙結果が原子力政策に影響すると考えられる。